

薬学部 村田日南乃

私は今回、水田三喜男記念奨学生としてハンガリー研修（国際グローバル研修）に参加し、ブダペスト商科大学学生との交流や様々なプログラムを通して私は三つのことを学んだ。

まず一つ目は、ハンガリーの大学教育がどうなっているのかというものだ。私は今回の研修の一つの目的として、ハンガリーの教育はどのように行われているのかを知ることができればと考えていた。なぜなら、ハンガリーはノーベル賞受賞者を多数輩出している国であるため、今回の研修は、とてもいい機会であると感じた。実際、ハンガリーは、日本とは異なり、生徒が積極的に質問したり、先生が生徒に対して質問するなどのアクティブラーニング形式で行われていたり、Kahoot や Quizlet というクイズを出すことのできるアプリケーションを使用して授業を行っていた。そのため、生徒が積極的に授業に参加することのできる形式で、私自身もこの授業を受けてこのような授業の形式であれば、興味を持つことができ、学習意欲が湧くと感じた。

二つ目は、ハンガリーはとても親日的な国であるということだ。今回研修をさせていただいたブダペスト商科大学の学生は、日本語を学んでいて、日本のことが好きな学生が多いため、私たち日本人学生に積極的に話しかけてくれた。また、毎日のように夜遅くまで観光案内をしてくれたり、宿まで見送ってくれたりなど彼らには深く感謝している。さらに、会話する時も英語でなんと良いかかわらなかつたときに待ってくれたり、会話の流れで何を言いたいのか汲み取って教えてくれたりなど、自分の英語力を知るだけでなく、英語力を伸ばすことのできるとても良い機会だったと思う。

三つ目は、ハンガリーの文化を学ぶことができたことである。ブダペスト商科大学の訪問初日に行われたセーカーチ先生の授業で、ハンガリーの歴史や、宗教、建築様式について学ぶことができた。この授業では、モンゴル・タタール人、オスマントルコの支配やさまざまな戦争などを通してハンガリーは何度も国土が変わって今の形となったため、ハンガリー人はさまざまな血が混ざっている民族で、自分のことをハンガリー人だと思っている人のことをハンガリー人だという事がとても興味深かった。さらに、建築様式のことでも学び、ゴシック様式や、ルネサンス様式、バロック様式など、そのほかにもさまざまな建築様式でハンガリーの建物は建てられていることを知ることができた。そのため、この授業を受けた次の日からの市内見学では、建物の特徴や、何で作られているのかなどを考えながら観察することができ、よりハンガリーの建築や、町並みを学ぶことができて、とても良かった。

今回の研修を通して私は、ハンガリーとはどういう国かということ、ブダペスト商科大学の学生との交流や、市内見学などを通して、ネットでは知ることのできないことまで学ぶことができた。これらの経験は、普段の生活ではすることのできない経験ばかりで、私にとってかけがえのないものとなった。今後も、この研修で学んだことを活かすことができるように意識的に生活したいと感じた。



最後に、本研修をサポートしてくださったすべての人に心から感謝申し上げます。